



「とんど」で無病息災を
おねがいました！





1月17日、今年もとんどを行いました。とんどは各地の村などで昔から行われてきた小正月の伝統行事です。とんどの火にあると風邪を引かない、病気をしないとってみんなで火にあたり、そして正月の餅を焼いて、その場で食べたり、小正月の朝の小豆粥やぜんざいに入れるという風習がありました。また、正月の書き初めを火に入れ、高く舞い上がると書が上手になるといわれています。



にじぐみやたいよう組の子どもたちは自分たちの願い事や絵などを一人ずつとんどの藁の中に入れました。家庭から持ってきてもらったしめ飾りもつけました。小学生のお兄ちゃんが書いた「元気一番」の書初めがひとときわ子どもたちの注目の的でした！



2025/01/17



火は消えてるのに灰の上って暖かい！手がぬくもるね！

たいようぐみさんは、正月飾りの鏡餅の中の丸餅を切ってとんどを焼いた後の炭火で焼いて食べました。
普段おもちをあんまり食べない子も「おいしい！」とおかわりしていました！



砂糖醤油で味付けしたお餅おいしい！



飾りの橙も少しだけ味見。すっぱい！